

第1回 市民ワークショップ オリエンテーションと、「篠ノ井の公共施設を知ろう」 をテーマにグループ作業を行いました

回
覧

8月6日（日）篠ノ井公民館で「篠ノ井地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

はじめに市から、長野市の公共施設の現状や課題などについて説明し、そのあとグループごとに「知っている篠ノ井地区の公共施設を書き出してみる」作業と発表を行い、市から公共施設の配置図や施設の概要調書などを配布しました。

ご参加いただいた皆さま、御協力ありがとうございました。

グループ作業の様子です



なごやかな雰囲気の中、様々な意見が出されました

今後の予定		内容（予定）	会場
第2回	8月27日（日）	グループ討議 テーマ ～公共施設に求められる機能、サービス～	篠ノ井公民館 （第一学習室）
第3回	9月10日（日）	グループ討議 テーマ ～南部図書館と篠ノ井駅 周辺の公共施設再配置の将来像～	
第4回	9月23日（土） （秋分の日）	意見発表、まとめ	

いずれも時間は午後2時から4時です。

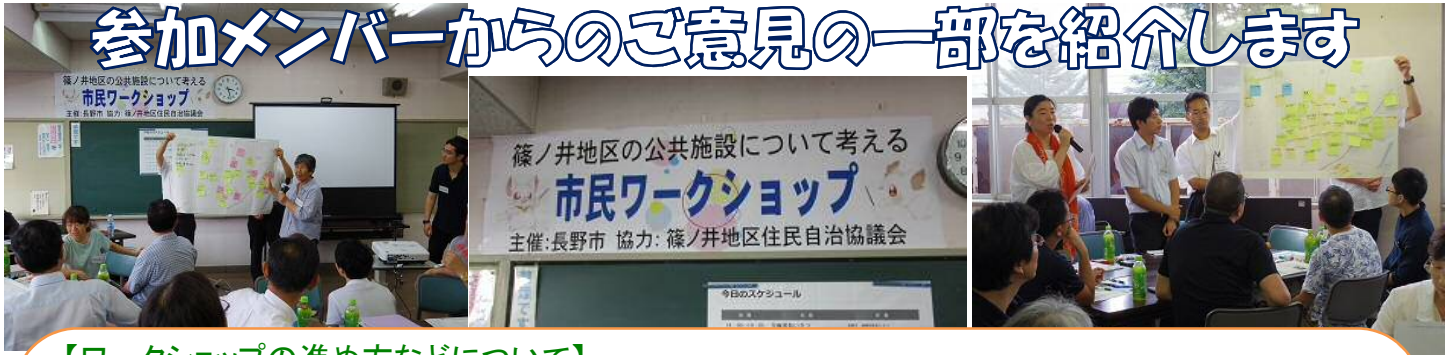
◇第2回目から本格的なグループ討議が始まります。興味のある方は、ぜひ会場にお越しください。飛び入り参加も大歓迎です。

◇長野市公式ホームページ「公共施設マネジメント推進課」に当日の資料などを掲載していますので、ご覧ください。

【お問い合わせ先】
公共施設マネジメント推進課
電話：224-7592
篠ノ井支所 電話：292-2590



参加メンバーからのご意見の一部を紹介します



【ワークショップの進め方などについて】

- ◆公共施設というイメージが広がった。配布された資料などをよく読んでみたい。
- ◆篠ノ井のまちの姿を描いて、公共施設の在り方を考えるワークショップを進めて欲しい。
- ◆施設の役割や将来像について、前提なく議論できる場にしていきたい。
- ◆公共施設の場所が理解できた。次回以降、深い議論ができることを期待している。
- ◆次回からもっと色々な意見が聞ければと思った。自分も発言していきたい。
- ◆公共施設の場所、配置、設置目的などを理解することが必要だ。
- ◆会場が狭くて聞き取りづらい。もう少し時間が欲しかった。
- ◆初対面の人ばかりで話せるか心配だったが、全体の雰囲気柔らかくて作業しやすかった。

【篠ノ井地区の公共施設について】

- ◆篠ノ井地区の公共施設について初めて知ることが多く、有意義な時間になった。
- ◆篠ノ井には美術館等ギャラリー機能が欠如している。今は無い施設を加えることも考えたい。
- ◆学校施設には歴史がある。継承する価値は数値化が難しいが、考慮すべきテーマだと思う。
- ◆南部図書館の移転改築について、図書館利用者として考える所があった。しかし、これからは、篠ノ井地区の公共施設全体の在り方や配置についても住民の一人として考えたいと思った。
- ◆これからも、全ての人が心地よく利用できる場所作りを考えていけたらと思う。自分も老人になったり、障害者になったりするの、そのことも頭において考えたい。

アドバイザーの堤先生(前橋工科大学准教授)のお話を紹介します。



- 『篠ノ井地区にある公共施設をどのくらい知っていますか』
- ・公共施設が、どこにあるか知ってますか？
→どんなことができる施設(建物)か確認しましょう。
 - ・使った事のある施設は、どんな施設でしたか？
→どのように見直せば良くなるか考えましょう。
 - ・使ったことの無い施設は、なぜ使わなくても良いのでしょうか？
→なぜその施設が必要なのか考えてみましょう。
 - ・その施設、本当に広いと良いですか？広さよりも・・・
→どんな施設が良いのか考えてみましょう。

- ・本当に今の場所が良いですか？ 施設は動きません。だから場所はとても重要です。
→どの場所が良いのか考えてみましょう。
- ・その施設は誰のものでしょうか？ 例えば学校は、子どもが使うから子どものものものですか？
→自分が使う・使わないに関係なく、皆さん全員の施設ではないですか？
- ・施設の使い方を見直しましょう。例えば図書館は本を読むだけ？勉強する、少し休憩したい・・・など
→今までの使い方の良いですか？ 使い方を見直すチャンスです。

『これからのワークショップを通して、公共施設の話だけでなく
これまでの生活を見直す、これからの生活を考える、きっかけにしてください。』



◇第1回と第2回の結果を、広報ながの10月号にあわせて回覧しています。
第3回と第4回の結果は、広報11月号にあわせて回覧します。お楽しみに！

